

みずほCustomer Desk Report 2018/05/02号(As of 2018/05/01)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.36 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.32	1.2080	132.10	1.3773	0.7531
SYD-NY High	109.89	1.2084	132.13	1.3773	0.7546
SYD-NY Low	109.25	1.1981	131.58	1.3588	0.7473
NY 5:00 PM	109.86	1.1993	131.78	1.3611	0.7492
NY DOW	24,099.05	▲ 64.10	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,130.70	64.44	日本10年債	0.0400	▲ 1.00bp
S&P	2,654.80	6.75	米国2年債	2.5063	1.63bp
日経平均	22,508.03	40.16	米国5年債	2.8133	1.43bp
TOPIX	1,774.18	▲ 3.05	米国10年債	2.9672	1.31bp
シカゴ日経先物	22,560	110.00	独10年債	0.5590	0.00bp
ロンドンFT	7,520.36	11.06	英10年債	1.4040	▲ 1.25bp
DAX	-	-	豪10年債	2.7635	▲ 1.60bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.94	0.21%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.56	0.33%
NY金	1,306.80	▲ 12.40	USDJPY 6M Vol	7.93	0.18%
WTI	67.25	▲ 1.32	USDJPY 1M 25RR	-0.58	Yen Call Over
CRB指数	201.26	▲ 0.73	EURJPY 3M Vol	7.28	0.15%
ドルインデックス	92.47	0.63	EURJPY 6M Vol	7.81	0.11%

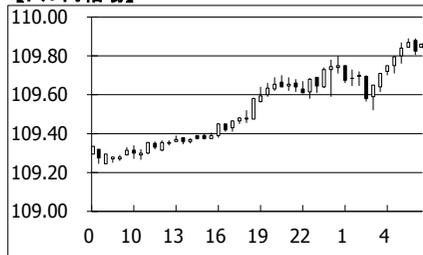
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
5月1日	13:30	豪	RBAキャッシュレート	- 1.50%	1.50%
	17:30	英	マーケット製造業PMI	4月 53.9	54.8
	22:45	米	マーケット製造業PMI	4月 56.5	56.5
	23:00	米	建設支出(前月比)	3月 -1.7%	0.5%
	23:00	米	ISM製造業景況指数	4月 57.3	58.5

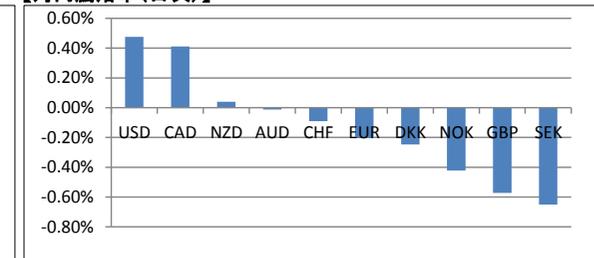
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
5月2日	10:45	中	Caixin 中国製造業PMI	4月 50.9	51.0
	17:00	欧	マーケットユーロ圏製造業PMI	4月 56.0	56.0
	18:00	欧	GDP(前期比/前年比)	1Q 0.4%/2.5%	0.6%/2.7%
	21:15	米	ADP雇用統計	4月 198k	241k
5月3日	03:00	米	FOMC政策金利	- 1.50%-1.75%	1.50%-1.75%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.60-110.40	1.1950-1.2050	131.50-132.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は堅調な値動き。多くの国が祝日であり薄商いの一日ではあったが、海外の短期投資家を中心に最近のドル高の流れに追随する動きが見られ、ドル全面高となる中、ドル円も109.90近辺まで上昇した。一方で経済指標に目を向けると、3月の米国建設支出、4月のISM製造業景況指数ともに大幅に下振れしており、米国株も軟調な値動きとなっている。「Sell in May」の言葉が示すように、リスクセンチメントの悪化には警戒が必要であろう。本日は米国時間にFOMCを控え、やや神経質な展開となり、動意の薄い一日を想定。

東京	東京時間のドル円は109.32レベルでオープン。シカゴ・香港、中国といったアジアの主要国が休日となる中、翌日にFOMCの結果発表、4日には米4月雇用統計を控え、結果を見極めたいとの思惑も相俟ってドル円は狭いレンジでの推移に終始。結局109.45レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場は参加者が少ない中で、ドル高の展開。ドル円は109.45レベルでオープン。翌日にFOMCの結果を控える中で、緩やかな上昇が続き一時109.70を付ける場面も見られる中、109.63レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3744レベルでオープン。英PMIが弱い結果となり、5月のBOEでの利上げ期待が一段と後退したとの見方から、ポンドドル高の展開。一時1.3667まで下落し、1.3676レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	休場の国が多い中、海外市場ではトランプ大統領がEUやカナダ等に対する鉄鋼とアルミニウムに対する関税の適用を1ヶ月間先送りしたこともあり、ドル買いが引き続き優勢となる中、109.63レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、米4月ISM製造業景況指数が構成指数の新規受注や雇用が低下したことから予想を下回り109.59まで下押しする。その後は再びドル買いが強まり、109.80まで上昇するが、このレベルでは利益確定の売り意欲もあり、上昇していた米金利がやや落ち着く動きも見られる中、109.52まで反落する。午後は、翌日のFOMC結果発表を前にドル買いが優勢となったことから一時109.89まで上昇し、109.86レベルでクロスした。一方、主要な経済指標の発表は無かったものの、引き続き上値の重いユーロドルは、1.2025レベルでNYオープン。朝方は一旦買戻しが強まり、1.2038まで戻す局面もあったものの、再び上値を重くし、200日移動平均線が観測されていた1.2015を抜けると、1/11以来に1.20を下抜けし、1.1981まで下落する。午後に入り1.2020まで買い戻される局面もあったものの、再びドルが買われる展開に、ユーロドルは1.1988まで反落し、1.1993レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 福田・鶴田